

令和4年度 男女共同参画審議会会議録概要

- 日 時：令和4年11月4日（金）14：00～16：00
- 場 所：奈良経済会館5階 大会議室
- 出席者：奈良県男女共同参画審議会委員（委員15名中、11名出席）
須崎康恵委員（会長）、末吉洋文委員（会長職務代理）
栗生紀子委員、秋吉美由紀委員、岸本洋一委員、杉井潤子委員、
多賀太委員、瀧井智美委員、二神洋二委員、松谷操委員、山崎靖子委員
- 議 題：（1）「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」に基づく施策の推進状況について
（2）「男女でつくる幸せあふれる奈良県計画」に基づく推進施策体系と主な取組について
- 質疑応答

（山崎委員）

- ・女性が働くのが当たり前という時代になってきた一方で、育休を取得するのは母親のみであり、父親が取得しても短期間という課題がある。また、離婚する場合、親権者は母親になることが多く、離婚後苦勞する女性も多い。若い人に向けて、夫婦ともに働きながら子育てをすることが当たり前という教育をこれからも進めてほしい。
- ・働くにあたり、保育園や幼稚園など安心して預けられる場所が充実していることも重要。保育士の質の向上や待遇の向上等にも力を入れていってほしい。

（松谷委員）

- ・生産性の高い職場作りという言葉があるが、生産性が低いからといって、障害を持った方や高齢者、女性や外国人などの雇用が切り捨てられてしまわないかということを危惧している。

（二神委員）

- ・子育ての問題については大きな課題であるが、この課題に取り組みたいという企業も多い。そのため、県はこの問題について周知することが重要。

（瀧井委員）

- ・アンコンシャスバイアスに気づくようになった一方で、アンコンシャスバイアスのある発言をする人の意識を変えることは難しい。そのため、被害者目線の動画発信など、今の時代に応じた支援者を増やす取組や意識改革につながるような支援をしていただきたい。

(多賀委員)

- ・本県における令和3年の家事関連従事時間の男女比について、5年前に比べ若干改善しているが、年齢別や就業状況別などについても分析をすることで、負担がかかっている層と改善している層の違いが見えてくるのではないかと。

(末吉委員)

- ・計画名の「男女」という言葉が、性的マイノリティに疎外感を与えてしまう可能性があるため、ネーミングを考慮したり、委員に性的マイノリティの方を入れるなど時代に合わせた対応をしてはどうか。
- ・計画の進捗状況について、概ね改善が進んでいるが、改善していない項目にも目を向けていくべきではないかと。
- ・「えるぼし」や「くるみん」の取得について計画に盛り込まれていないため、労働局と連携することで働き方改革やジェンダー平等に繋がるのではないかと。
- ・生理の貧困に対し、県内市町村では生理用品の無料配布を実施しているが、ほとんどが災害備蓄であるため、積極的な取組に期待したい。

(杉井委員)

- ・計画名の「男女」という部分が非常に引っかかるため、次期計画以降は男女を超えたあらゆる性の在り方を考慮した名前を検討してもらいたい。

(岸本委員)

- ・リモートワークになることによって、コミュニケーション不足によるメンタル不全という課題も出てきているため、テレワークの導入定着に向けた支援だけでなく、就業環境のチェックにも取り組んでいただきたい。その際に、働くことの満足度の向上という視点も含めていただきたい。

(秋吉委員)

- ・女性センターの相談窓口などは悩みがあっても利用できていない人も多いと思われるため、県民全体に広く周知できるよう広報に力を入れていくべきではないかと。
- ・夫の転勤による単身赴任によって、妻が働きながら育児をしている家庭もあるため、そのような家庭に配慮できるような取組を考えてほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症の後遺症によって仕事を辞めざるを得ないシングルマザーもいるため、こうした人たちを女性センターの相談窓口などで支援していただきたい。

(粟生委員)

- ・包括的な性教育を含めた人権教育の必要性や、女性差別を温存している家父長制や雇用制度、税制、法律など社会の仕組みや制度についての問題提起を大々的に行ってはどうか。
- ・幼少期からのジェンダー教育に取り組むために教育委員会との連携も重要。実際に、秋田県では、包括的な性教育に取り組むことで10代の妊娠中絶件数を減らすことができた。このような包括的な性教育に関する県独自の取組を行う予定はあるか。

(須崎委員)

- ・管理職における女性の割合について、教育委員会や県警といった組織こそ多様な人材が必要であると考えますが、何か数値目標はあるか。
- ・「奈良県人権施策に関する基本計画」において、新しく「ハラスメントに関する人権」という分野ができたが、どのように整理し順位付けを行いながらやっていくのか。